

—散策する—

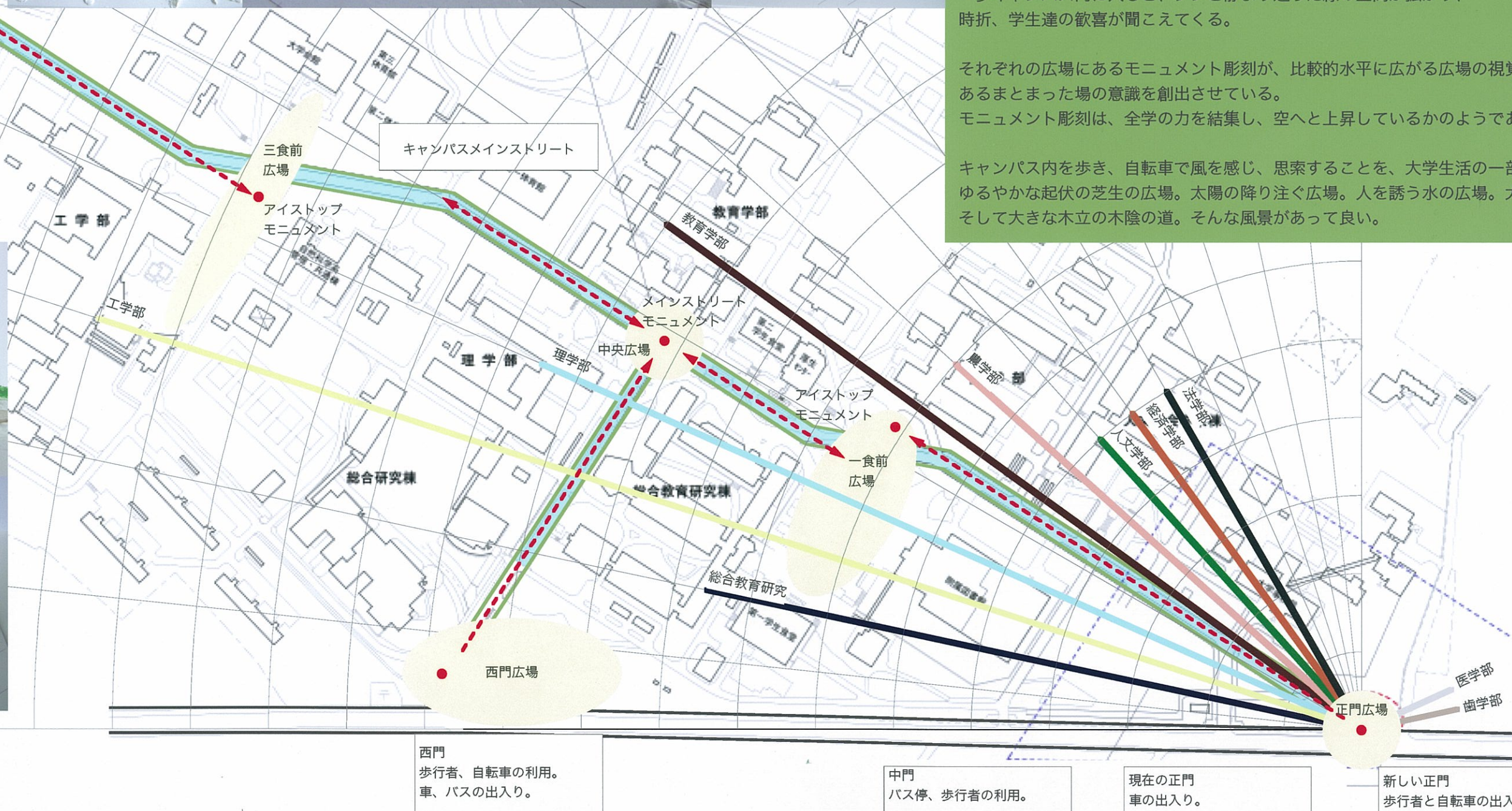
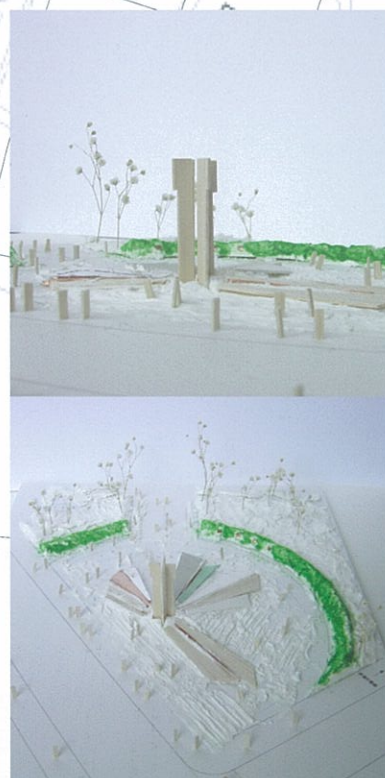
新潟市の郊外五十嵐に総合大学のキャンパスがつくられ、周辺にまちができた。大学はその周囲の町を取り込み、まちの一部として今在る。大学のそれぞれの門は、大学がまちに提供するオープンスペースである。

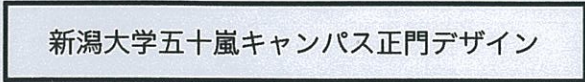
新潟大学五十嵐キャンパスの正門は、大学を訪れる人々の最も正面の場所で、ちょうど五十嵐キャンパスの東の角地に位置している。しかし、広大なキャンパスの敷地に各専門学部、大学院、研究施設が散在しているため、この場所からは、自らが向かう場所や活動が見えにくい。

そこで正門は、ここを出発点としてそれぞれの「学びの場」へ、拡がり意識させる視覚的デザインとする。キャンパスの門は広場であり、それぞれの広場を結ぶ道としてキャンパスメインストリートがつけられる。キャンパスメインストリートは学生達を大学へ迎え入れるように広場に大きく口を開け、正門広場からは、真っ直ぐにキャンパス内に人々を誘う象徴的な性格を持っている。賑やかな南側の大通りから、広場を包む緑のゲートをくぐり、一歩キャンパス内に入ると、シンと静まり返った緑の空間が拡がり、時折、学生達の歓喜が聞こえてくる。

それぞれの広場にあるモニュメント彫刻が、比較的水平に広がる広場の視覚的焦点となり、あるまとまった場の意識を創出させている。モニュメント彫刻は、全学の力を結集し、空へと上昇しているかのようなのである。

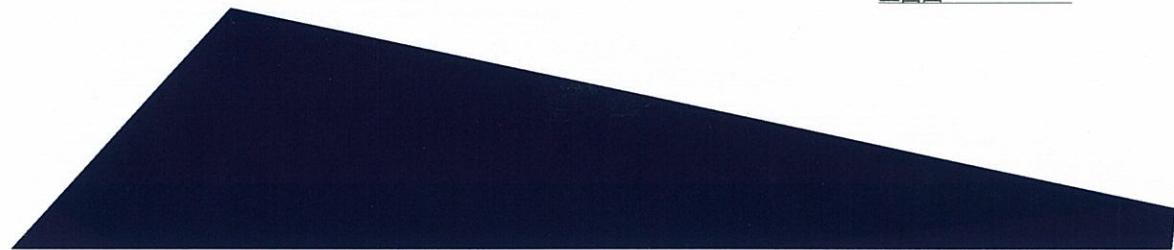
キャンパス内を歩き、自転車で風を感じ、思索することを、大学生活の一部にしていく。ゆるやかな起伏の芝生の広場。太陽の降り注ぐ広場。人を誘う水の広場。大階段の広場。そして大きな木立の木陰の道。そんな風景があって良い。







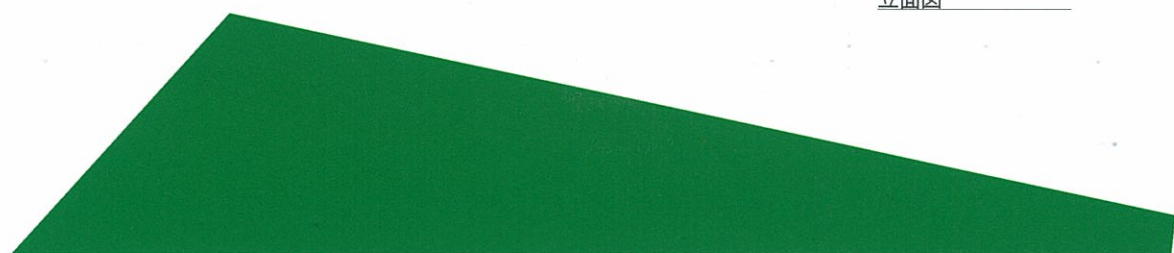
立面图



平面图



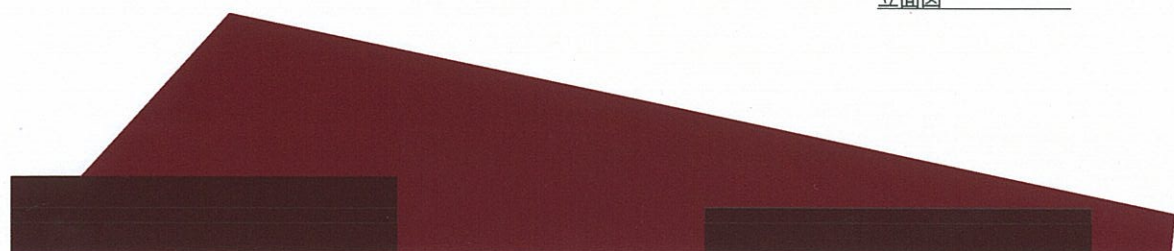
立面图



平面图



立面图



平面图



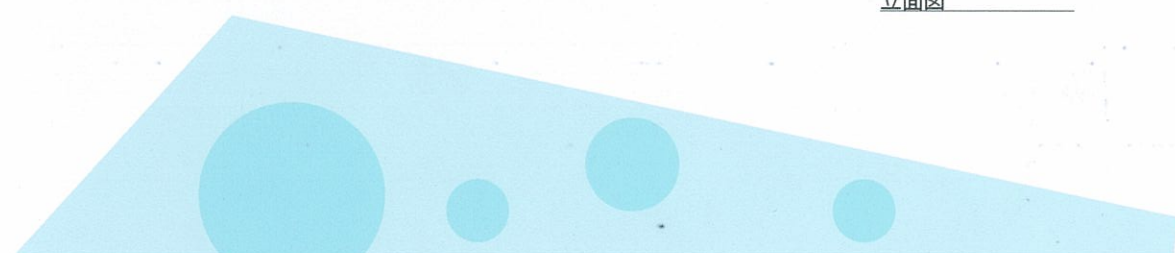
立面图



平面图



立面图



平面图



立面图



平面图